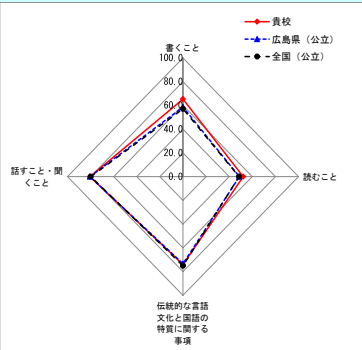
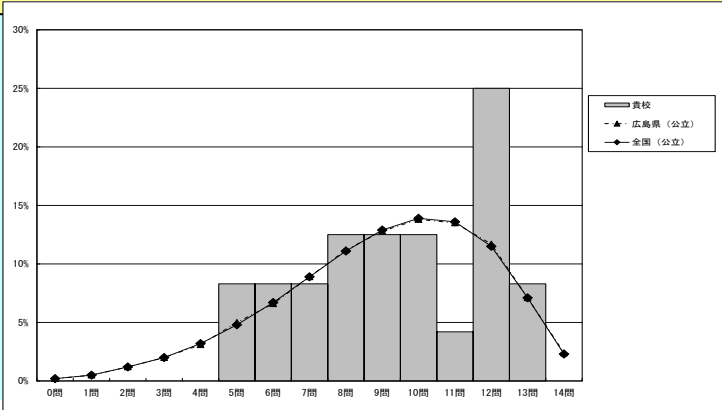


令和3年度全国学力・学習状況調査 本年度通過率（本校 %, 県 %）



領域別平均正答率



正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

本年度の結果について

○国語科の結果において、平均正答率は67%（県平均より+2ポイント）の通過率となっている。領域別にみると、話すこと・聞くこと80.6%（±0ポイント）、書くこと65.3%（+6.7ポイント）、読むこと52.1%（+3.3%）、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項74%（+0.7%）であり、特に話すこと・聞くことと、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の学習内容の定着に課題がみられる。特に、敬語の種類と適切な使い方が定着していない。

重点課題

- 【課題1】
○「相手や場に応じて敬語を適切に使うことができるか。」【通過率20.8%】
「行く」を文脈に沿って適切な敬語に書き直し、その敬語の種類を選択肢から答える問題。
- 【課題2】
○「話合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考えることができるか。」【通過率54.2%】
話合いの一部を読んで、後に続く発言について、誰がどのようなことを言えばよいか答える問題。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業）

- 【課題1】 目上の相手とコミュニケーションをとる場合、自分の行動について言う際は謙譲語を使うことが分かっていないこと、「行く」の謙譲語を理解していないことが課題として考えられる。敬語の種類と、それぞれの敬語の例を学び直す。また、様々な場面を設定して、敬語を正しく使う練習を行う。家庭学習での定着も図り、確認テストや定期テストで定着度を見取った上で改善を図る。理解度の低い生徒には、個に応じた補充学習を行う。
- 【課題2】 話合いの場の設定や話合いのルールを読んでいないこと、読んだとしてもその後様々な資料を読むうちに忘れてしまっていること、話者の設定・話の内容をよく理解していないことが課題として挙げられる。条件付きの問題や、話合いの続きを考える問題を解く場面を増やす。また、その時に何を答えなければいけないのか、話合いの話題や方向の状況を把握できるようにさせる。さらに、確認テストや定期テストで定着度を見取った上で改善を図る。理解度の低い生徒には、個に応じた補充学習を行っていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			正答率40%未満の問題をさせる。	期末試験	江田島市小中学校学力調査		学年末試験
目標値			60%	60%	60%		80%
実施後数値							

【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法			正答率40%未満の問題をさせる。	期末試験	江田島市小中学校学力調査		学年末試験
目標値			60%	60%	60%		80%
実施後数値							